



令和 8 年度 桂雪会 総会資料



令和 8 年 5 月 1 日（金） 北信高校総体の壮行会

日 時 令和 8 年 6 月 7 日（日）14：00～
会 場 ホテル ほていや

飯山高等学校桂雪会

令和8年度 桂 雪 会 総 会 次 第

令和8年6月7日（日）14：00～ 於 ホテル ほていや

進 行 桂雪会事務局

I 桂雪会総会 14：00～

1. 物故者への黙とう
2. 開会の辞 副会長
3. 会長挨拶 宮本会長
4. 学校長挨拶 金井校長
5. 来賓ご挨拶 顧 問
6. 議長選出
7. 議 事
 - (1) 第1号議案 令和8・9年度役員体制の承認
 - (2) 第2号議案 令和7年度桂雪会事業報告について
 - (3) 第3号議案 令和7年度会計決算報告について
 - (4) 第4号議案 令和8年度事業計画（案）について
 - (5) 第5号議案 令和8年度会計予算（案）について
 - (6) その他
 - ・ 卒業30周年ホームカミングデーの開催について
 - ・
8. 閉会の辞 副会長
感謝状贈呈 (退任副会長)

II 後援会（パネルディスカッション） 15：10～

演題 「飯山高校の発展を願う研究会」の報告と飯山高校変革の将来像

基調報告 飯山高校の発展を願う研究会 【20分】

パネルディスカッション（パネラーは当日紹介） 【50分】

III 懇親会 16：30～

第1号議案

令和8・9年度桂雪会役員体制（案）

職 名	氏 名
顧 問	岩崎 彌
顧 問	猪瀬 清徳
顧 問	関 保典
顧 問	米澤 修一
顧 問	金井 繁昭
会 長	宮本 衡司
副会長	高橋 彰
副会長	上海 一徳
副会長	湯本 直木
副会長	佐藤 立美
副会長	村石 桂太郎
監 事	石田 一彦
監 事	箕口 徳夫

小嶋日出
子氏退任

幹事長	小橋 浩樹
副幹事長	山崎 美典
副幹事長	大塚 正
幹 事	新家 智裕
幹 事	小田切 昇
幹 事	藤巻 篤
幹 事	岡田 敬幸
幹 事	川久保 直市
幹 事	吉越 利明
幹 事	小山 巧
幹 事	島田 和彦
幹 事	宮澤 良裕
幹 事	湯本 武利
幹 事	教頭 太田 直樹
幹 事	

澤木伸一
氏退任

飯山支部	支部長	上松 永林
	副支部長	横川 莊一
	副支部長	村石桂太郎
	副支部長	島田 和彦
秋津支部	支部長	石澤 一芳
	副支部長	丸山 朗
木島支部	支部長	湯本 武利
	副支部長	
瑞穂支部	支部長	増山 保範
	副支部長	岩松 義雄
柳原支部	支部長	佐藤 正夫
	副支部長	木幡喜美子
外様支部	支部長	春日 早夫
	副支部長	春日 隆
常盤支部	支部長	平野 弘蔵
	副支部長	
太田支部	支部長	青木 彰
	副支部長	庚 繁樹
岡山支部	支部長	井沢 清一
	副支部長	田中 康一
木島平支部	支部長	湯本 直木
	副支部長	瀧澤 俊實

澤木伸一
氏退任

野沢温泉	支部長	丸山 和久
	副支部長	市川 公紀
栄支部	支部長	森川 博
	副支部長	
支部	支部長	武田 芳彦
	副支部長	瀧澤 国夫
共同支部	支部長	小林 守夫
	副支部長	大熊 文久
豊野支部	支部長	米木 善登
	副支部長	原田 茂
中野支部	支部長	小林 尚人
	副支部長	
豊田支部	支部長	吉岡 典高
	副支部長	小橋 浩樹
津南支部	支部長	島田 哲宏
	副支部長	
県外(5)		
東京関東支部	支部長	阿部 靖典
	副支部長	高橋 彰
	副支部長	山城 弘枝
	会 計	藤好しのぶ

平田幸男
氏退任

事務局
局長 渡邊 智
副 山崎 皓
月岡 未来
春日 光
渡辺 藤夫
会計 佐藤 雅彦
(事務長)

第2号議案 令和7年度 桂雪会 事業報告

1 総会・役員会等

役員会 4月28日(月) 18:00～ 桂雪会館
総会 6月1日(日) 14:00～ ホテルほていや

2 学校が主催する卒業式、職員送別会、飯高祭、授業公開等に参加。 学校評議員会には上海副会長が出席

3 桂雪会報の発行

- ・第9号 令和8年2月に発行
- ・役員、支部長、生徒・教職員に配布し、HPに掲載する

4 その他の事業 東京関東支部総会への出席・補助、冬季五輪出場激励金(3名)

5 教育支援事業の実施

- ・桂雪アカデミー・・・PTA・桂雪会から各35万円、計70万円を拠出し実施
休日の会場は本年度より、桂雪会館を利用。
- ・スクールバス事業・・・同窓会事業として、中野方面1便運行(26名利用)。
- ・マイクロバス事業・・・クラブ活動などで利用。今年度はスクールバスとして42日使用
- ・学業・クラブ活動支援・・・クラブ外部指導者の謝礼(卓球・ソフトテニス等)・懸垂幕の作成
等・世界大会出場者への激励金・SSH フェス補助
- ・信毎データベース費用支援
- ・卒業記念品(証書入れ)、入学生に校章バッジの贈呈

6 教育環境整備事業の実施

- ・情報機器支援・・・PC1台の4月分レンタル代、更新PC購入
- ・施設設備・・・ジェットヒーター購入補助
- ・生徒指導助成・・・宿舍管理(4月分)・調理業務補助員費(寮費会計より)

7 「飯山高校の発展を願う研究会」の活動

- ・地元市町村の教育長などとの懇談
- ・北信地区中学校訪問 9月・11月に40校を訪問し、作成したポスター・クリアファイル、学校案内の資料をもとに、飯山高校への生徒募集をよびかけた。
- ・飯山高校発展の提言のためのデータ分析と研究

8 ホームカミングデーの実施

- ・卒業30周年の同窓生に呼びかけ、6月に実行委員会で飯山北高校のみ開催が決定
- ・8月16日(土)に「びっくわん」にて開催

9 その他

- ・甲子園出場実行委員会の事業検討と活動への協力
- ・ホームページの管理と更新

第3号議案

令和7年度長野県飯山高等学校桂雪会決算書（案）

1 総括

収入決算額	8,642,372 円
支出決算額	5,247,113 円
差引残額	3,395,259 円

2 収入

(単位:円)

科 目	当初予算額	補正額	現計予算額 (A)	収入済額 (B)	増 減 (B)-(A)	説 明
1 繰越金	2,922,643	0	2,922,643	2,922,643	0	前年度繰越金
2 繰入金	1,152,000	0	1,152,000	940,956	△ 211,044	寮費会計(調理業務補助),スクールバス会計より
3 入会金	264,000	0	264,000	264,000	0	新入生2,000×132名
4 会 費	4,520,000	0	4,520,000	4,408,350	△ 111,650	10,000×452名 ※転退学返金あり
5 諸収入	57	0	57	106,423	106,366	預金利息7,183円、ホームカミングデー準備金94,440円 他
合 計	8,858,700	0	8,858,700	8,642,372	△ 216,328	

3 支出

(単位:円)

科 目	当初予算額	流用額	現計予算額 (A)	支出済額 (B)	差 引 (A)-(B)	説 明
1 事務費	360,000	192,293	552,293	478,068	74,225	
会議費	100,000	27,168	127,168	127,168	0	総会・役員会・支部総会費等
旅 費	50,000	51,560	101,560	101,560	0	総会・役員会・支部総会等旅費
消耗品費	30,000	113,565	143,565	143,565	0	桂雪会館スリッパ、ラベルシール、ポスター等
通信費	100,000	0	100,000	71,775	28,225	役員会・総会案内、新聞掲載料、ホームカミングデー通信費、会報送料
慶弔費	80,000	0	80,000	34,000	46,000	香典、転退職職員餞別代
2 本会事業費	700,000	20,880	720,880	455,260	265,620	
会報発行費	300,000	0	300,000	84,150	215,850	会報印刷代
記念品費	300,000	0	300,000	250,230	49,770	証書ホルダー、校章バッジ代
その他事業費	100,000	20,880	120,880	120,880	0	支部総会補助、冬季オリンピック激励金
3 教育支援費	5,875,000	0	5,875,000	2,813,785	3,061,215	
情報処理費	300,000	0	300,000	162,085	137,915	同窓会ノートパソコン更新 160,380円、PCリース4月分
施設整備費	300,000	0	300,000	31,880	268,120	ジェットヒーター補助
教育補助費	3,580,000	0	3,580,000	1,572,806	2,007,194	桂雪アカデミー事業補助 350,000円、冬期スクールバス 運行事業 861,894円、懸垂幕作製費 208,890円、 SSHフェスティバル 44,783円、他
生徒助成費	500,000	0	500,000	160,233	339,767	世界大会出場激励金、クラブ外部コーチ謝礼
宿舍管理費	1,195,000	0	1,195,000	886,781	308,219	寄宿舎管理(4月分)、調理業務補助844,075円
4 繰出金	1,500,000	0	1,500,000	1,500,000	0	
教育基金	1,000,000	0	1,000,000	1,000,000	0	教育基金積立て
マイクロバス会計	500,000	0	500,000	500,000	0	桂雪会マイクロバス会計へ
5 予備費	423,700	△ 213,173	210,527	0	210,527	
合 計	8,858,700	-	8,858,700	5,247,113	3,611,587	

※各科目間の流用は、必要に応じて会長が承認できるものとする。

備考1 預金通帳

金融機関名	名 義	種 別	残 高
八十二長野銀行 飯山支店	桂雪会	普通	3,389,023
JAバンク 飯山支所	桂雪会	普通	6,236
計			3,395,259

令和7年度 特別会計 教育基金決算書 (案)

1 総 括

収 入 総 額 1,000,106 円
 支 出 総 額 1,000,106 円
 差 引 残 額 0 円

2 収 入

(単位:円)

科 目	予算額(A)	収入済額 (B)	差引 (B)-(A)	説 明
繰 入 金	1,000,000	1,000,000	0	一般会計から繰入
諸 収 入	50	106	56	定期預金利息
合 計	1,000,050	1,000,106	56	

3 支 出

(単位:円)

科 目	予算額(A)	支出済額 (B)	差 引 (A)-(B)	説 明
積 立 金	1,000,050	1,000,106	△ 56	定期預金
合 計	1,000,050	1,000,106	△ 56	

資産(定期預金)令和8年3月現在

(単位:円)

金融機関名	名義	預金種別	残高	説明
八十二長野銀行飯山支店	桂雪会	定期預金	3,500,705	定期積立

令和7年度 特別会計 桂雪会マイクロバス会計決算書 (案)

1 総 括

収 入 総 額 2,059,965 円
 支 出 総 額 842,574 円
 差 引 残 額 1,217,391

2 収 入

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	収入済額 (B)	差引 (B)-(A)	説 明
繰 越 金	943,508	943,508	0	前年度繰越金
繰 入 金	500,000	500,000	0	一般会計から繰入
マイクロバス使用料	500,000	566,000	66,000	運動部23万円、スクールバス33.6万円
諸 収 入	4	50,457	50,453	返還保険料、預金利息
合 計	1,943,512	2,059,965	116,453	

3 支 出

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	支出済額 (B)	差引 (A)-(B)	説 明
事 務 費	15,000	6,000	9,000	安全運転管理者講習
維持管理費	1,300,000	624,414	675,586	車検整備・整備費・タイヤ等
自動車税・保険料	220,000	212,160	7,840	名義変更による新規契約
予 備 費	408,512	0	408,512	
合 計	1,943,512	842,574	1,100,938	

会計監査報告書

令和7年度の桂雪会会計監査の結果、帳簿・現金の管理及び
処理は、適正、正確であることを認めましたので、ここに報告
いたします。

令和8年5月 日

桂雪会会長 宮本 衡司 様

監 事 石田 一彦

監 事 箕口 徳夫

第4号議案 令和8年度 桂雪会 事業計画（案）

1 総会・役員会等

役員会 4月28日(火) 18:00～ 桂雪会館
総会 6月7日(日) 14:00～ ホテルほていや

2 学校が主催する卒業式、職員送別会、飯高祭、授業公開等に参加。

会長が出席
学校評議員会には上海副会長が出席

3 桂雪会報の発行

- ・第10号 令和9年2月に発行
- ・役員、支部長、生徒・教職員に配布し、HPに掲載する

4 その他の事業 … 支部活動補助 他

5 教育環境整備事業の実施

- ・情報機器支援…校内で必要な機器
- ・施設設備……校内の要望による
- ・生徒指導助成…調理業務補助員費（寮費会計より）

6 教育支援事業の実施

- ・桂雪アカデミー…PTA・桂雪会から負担金を拠出し実施
土日・休日の会場は桂雪会館を利用
- ・スクールバス事業…同窓会事業として実施
- ・マイクロバス事業…クラブ活動・スクールバス等で利用
- ・学業・クラブ活動支援…クラブ外部指導者の謝礼・懸垂幕の作成等・世界大会出場者への
激励金・SSH 事業補助 等
- ・信毎データベース費用支援
- ・卒業記念品(証書入れ)、入学生に校章バッジの贈呈

7 「飯山高校の発展を願う研究会」の活動

- ・飯山高校発展の提言ためのデータ分析と研究
- ・地元市町村の教育長や中学校等関係者との懇談
- ・生徒募集のための活動
- ・飯山高校支援のための基金創設の研究 他

8 平成8年3月卒業生ホームカミングデーの実施（第2回）

- ・4月20日(月)に第1回実行委員会を開催…3校合同での開催を決定
- ・8月15日(土)18:00 「びっくわん」にて開催を予定(参加数によっては会場変更も)

9 その他

- ・甲子園出場実行委員会の事業検討と活動への協力
- ・ホームページの全面更新と運営

第5号議案 令和8年度長野県飯山高等学校桂雪会予算書（案）

1 総括

収入予算額	9,420,000 円
支出予算額	9,420,000 円
差し引き	0 円

2 収入

（単位：円）

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	差 引 (A)-(B)	説 明
1 繰越金	3,395,259	2,922,643	472,616	前年度繰越金
2 繰入金	1,270,000	1,152,000	118,000	寮費会計、スクールバス会計より
3 入会金	292,000	264,000	28,000	新入生2,000×146名
4 会 費	4,310,000	4,520,000	△ 210,000	10,000×431名（1年146名 2年131名 3年154名）
5 諸収入	152,741	57	152,684	預金利息、ホームカミングデー準備金 他
合 計	9,420,000	8,858,700	561,300	

3 支出

（単位：円）

科 目	本年度予算額 (A)	前年度予算額 (B)	差 引 (A)-(B)	説 明
1 事務費	480,000	360,000	120,000	
会議費	150,000	100,000	50,000	総会・代議員会、役員会等の経費
旅 費	100,000	50,000	50,000	総会・代議員会、役員会等の交通費
消耗品費	50,000	30,000	20,000	事務用品 等
通信費	100,000	100,000	0	新聞広告代、郵送代 等
慶弔費	80,000	80,000	0	慶弔、職員餞別 等
2 本会事業費	780,000	700,000	80,000	
会報発行費	200,000	300,000	△ 100,000	会報の印刷
記念品費	300,000	300,000	0	卒業記念品、校章バッジ等
研究会事業費	100,000	0	100,000	「飯山高校の発展を願う研究会」活動費
ホームカミングデー事業費	80,000	0	80,000	対象会員データ・通信費、同窓会開催経費
その他事業費	100,000	100,000	0	支部活動助成
3 教育支援費	5,750,000	5,875,000	△ 125,000	
情報処理費	300,000	300,000	0	信毎データベース助成・桂雪会HP更新 等
施設整備費	500,000	300,000	200,000	
教育補助費	2,500,000	3,580,000	△ 1,080,000	桂雪アカデミー事業 400,000円、スクールバス事業 1,000,000円、SSH事業補助 他
生徒助成費	1,000,000	500,000	500,000	生徒指導助成 クラブ活動助成、世界大会出場支援 他
宿舍管理費	1,450,000	1,195,000	255,000	寄宿舎調理補助 等
4 繰出金	2,000,000	1,500,000	500,000	
教育基金	1,500,000	1,000,000	500,000	特別会計 教育基金へ
マイクロバス会計	500,000	500,000	0	特別会計 桂雪会マイクロバス会計へ
5 予備費	410,000	423,700	△ 13,700	
合 計	9,420,000	8,858,700	561,300	

※各科目間の流用は、必要に応じて会長が承認できるものとする。

令和8年度 特別会計 教育基金予算書 (案)

1 総 括

収 入 予 算 額 1,500,150 円
支 出 予 算 額 1,500,150 円

2 収 入

(単位:円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差 引 (A)-(B)	説 明
繰 入 金	1,500,000	1,000,000	500,000	一般会計から繰入
諸 収 入	150	50	100	定期預金利息
合 計	1,500,150	1,000,050	500,100	

3 支 出

(単位:円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差 引 (A)-(B)	説 明
積 立 金	1,500,150	1,000,050	500,100	定期預金
合 計	1,500,150	1,000,050	500,100	

資産(定期預金)令和8年3月現在

(単位:円)

金融機関名	名義	預金種別	残高	説 明
八十二銀行飯山支店	桂雪会	定期預金	3,500,705	定期積立

令和8年度 特別会計 桂雪会マイクロバス会計予算書 (案)

1 総 括

収 入 予 算 額 2,217,500 円
支 出 予 算 額 2,217,500 円

2 収 入

(単位:円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差 引 (A)-(B)	説 明
繰 越 金	1,217,391	943,508	273,883	前年度繰越金
繰 入 金	500,000	500,000	0	一般会計から繰入
マイクロバス使用料	500,000	500,000	0	運動部
諸 収 入	109	4	105	預金利息
合 計	2,217,500	1,943,512	273,988	

3 支 出

(単位:円)

科 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	差 引 (A)-(B)	説 明
事 務 費	15,000	15,000	0	安全運転管理者講習
維持管理費	1,300,000	1,300,000	0	車検整備・整備費・タイヤ等
自動車税・保険料	220,000	220,000	0	昨年新規契約を継続
予 備 費	682,500	488,350	194,150	
合 計	2,217,500	2,023,350	194,150	

第1回 高校卒業 30 周年同窓会(ホームカミングデー)の開催

対象 飯山北高校・飯山南高校・飯山照丘高校の平成6年度卒業生（平成7年3月卒業）

6月に実行委員会を行った結果、飯山北高校のみが開催する運びとなった。
飯山南と照丘高校については、次年度開催を目指す。

- 1 開催日時 令和7年 8月 16日（土）17:30受付開始 18:00開会
- 2 会 場 びっくわん 〒389-2254 長野県飯山市南町25-1（会費8000円）
- 3 卒業 30 周年同窓会実行委員会（後 援 桂雪会）

発起人 1組 小林 一樹

実行委員 1組 大日方 正喜・佐藤 仁美

2組 仲條 壮一・山崎 裕晃・阿部弓恵・丸山かおり

3組 前澤 俊一・岩倉 彰恵・丸山 聡美

4組 杉山 豪・小松いずみ・小林 重典

参加者 平成6年度卒業生40名・同窓会事務局関係5名



桂雪会「飯山高校の発展を願う研究会」の活動報告

同窓会事務局 渡辺 藤夫

平成19年に第1次統合、平成26年に第2次統合を経て、現在の飯山高校が誕生しましたが、更に人口減少が進むこの地域で、昨年は飯山高校の普通科の募集定数が1学級減となり、加えて、ここ何年かは入学者の定員割れが続く状況で、本校の行く末が心配されます。来年度は、地域の教育関係者の熱い思いと中学卒業生数の微増により、募集定数は1学級増の5学級の募集になったものの、地元中学生の他地区の高校や私立高校への流出は止まらない状況です。飯山高校の教育活動の成果は評価されるどころであり、生徒や教員の頑張りは顕著ではありますが、生徒の志願状況はなかなか苦しいのが現実です。本校は、この地域になくてはならない高等学校ですので、桂雪会としても応援をしたいとの思いで、以下のような研究会を立ち上げ活動を始めました。

令和7年度の活動を報告します。

I 「飯山高校の発展を願う研究会」の設立（令和7年6月）

1 本研究会設立の理由

昨年度、旧一区の人口減少による中学生の卒業生数が200人を割り、飯山高校の募集定数を160名（探究2学級・普通1学級・スポ1学級）に減じたものの今年度の入学者は132名（28名の不足）でした。下高井農林も80名募集のところ38名の入学であり、近年、両校で定員割れが続いています。

将来の旧一区の高校と地域の良い形での存続のために、桂雪会では「飯山高校の発展を願う研究会」を発足し、主に以下の点について研究を進めながら、短期的な課題と長期的な課題の両方の視点を踏まえつつ飯山高校の発展のために行動することになりました。

- (1) 一区の高校の在り方・将来像の研究
- (2) 飯山高校の入学定数を満たす研究
- (3) 飯山高校をより魅力ある学校にし、発展させていく研究

2 中学卒業生の推移と入学者数の推移

- (1) 一区中学卒業生数と飯山高校及び1区高校への入学率

和暦	H23年	…	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	R8年	R9年	R10年
西暦	2011年	…	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年
中学卒業生数	381	…	250	256	233	234	168	216	215	187
飯山北・飯山割合	52%	飯山	44%	43%	41%	42%	40%			
1区入学生割合	71%	…	64%	59%	64%	62%	57%			
3校学級数	4・3・2	2校	5・2	5・2	5・2	5・2	4・2			

- (2) 飯山高校入学生の一区・二区の生徒数と割合

年度	R3	R4	R5	R6	R7
入学者合計	197	186	173	159	133
一区生徒数	111	109	95	96	68
%	56%	59%	55%	60%	51%
二区生徒数	47	47	38	37	38
%	24%	25%	22%	23%	29%

3 一区高校及び飯山高校の課題

(1) 旧一区の現状

- ① 一区(岳北4市村)の人口減少→中学校卒業生数の減少
- ② 区外への流出や私立校への進学、定時制や通信制(広域通信含め)への進学→定員割れ続く
- ③ R7年度、飯山高校は普通科2学級を1学級に減をしたので、4学級(探2・普1・スポ1)、下高井農林高校は2学級募集。両校とも定員割れ。
→1区の高校の在り方(57%の残留率)
- ④ 近年の私学人気(授業料無償化がこの傾向を加速させる可能性?)
- ⑤ 令和8年度は飯山高校で普通科2学級を希望

(2) 飯山高校の課題

- ① 定員割れの分析(データ分析、アンケート調査、飯山高校の長所短所)
- ② 飯山高校好感度アップの戦略
→高校選びのポイント(アンケートから):通学・校風・部活・進学の順
・学力向上と進学実績向上の方策・・・特色教育の予算利用
・部活動の充実と生徒ファーストの指導(生徒と教師の良い関係)
・活気ある生徒会活動への支援
・探究的な学びの充実により、考える力・コミュニケーション力を伸ばす
- ③ 探究科の人気復活の方策
・この地域に大学進学が叶う高校を残す必要性
・「大学進学を目指すなら探究科」というメッセージを明確に
・SSHや探究活動が進学に役立つことをアピール
・SSHや課題研究により学力向上につながることを伝える
- ④ PRの工夫
・ホームページの刷新と公式インスタグラムでの発信
・飯高ジャーナル ・同窓会や教員による中学校訪問 ・PTAの口コミ
- ⑤ SSH第4期申請の成功
・令和8年申請→令和9年度、第4期の採択を目指す
・750万円の予算の効果的な利用
- ⑥ スクールバスの運行(業者委託から同窓会の運営へ)
・山ノ内・中野方面からの通学者の、冬期間の交通手段の確保

4 本研究会の活動の可能性

- (1) 学校、地域関係機関との連携協力関係構築
→地域の関係者から学び(教育長・中学校長、事業者、移住担当者等との懇談)とともに進む
- (2) 一区の高校の在り方の検討と申言 → 4市村関係者との懇談
- (3) 飯山高校の魅力化の検討と申言:進路実績やクラブ活動、生徒・保護者目線の充実化
- (4) 飯山高校志願者を増やすための活動
ア 1区対象の広報活動 イ 区外対象の広報活動
ウ WEB、SNSの利用による広報活動
エ 地域新聞の協力による広報活動
オ 桂雪アカデミー、会館の有効活用(中学生向けの学習、保護者向けの講演など)
カ 教育基金の設立:基金から学校に加配教員雇用(県との協定で可能)、奨学金、スクールバス等
キ 姉妹都市などからの山村留学(飯山の四季が育ての親)
ク SSH高との連携、地場産業との連携、下高井農林との授業連携、など

Ⅱ 地域の教育関係者との懇談

まずは、様々なデータから飯山高校の現状分析を行い、学校職員や地域の教育関係者と懇談を行いました。7月上旬には、山田飯山市教育長、長瀬元飯山市教育長と懇談を行い、飯山高校の現状と将来のこの地域の高校の在り方等について意見交換をしました。これをきっかけに、4市村の教育長名で、県教育委員会に令和8年度飯山高校の普通科2学級の実現について意見書を提出していただきました。また、10月には、4市村の教育長との懇談を行い、飯山高校への支援と中学生の飯山高校への志願の後押しをお願いしました

Ⅲ 志願者増加のための募集活動

1 【飯山高校のポスターとクリアファイルの配布】

飯山高校のPRのためにポスターを作成して中学校に配布し、好感度を上げようということになりました。美術部と書道部に依頼をしてデザインを考えてもらい、次のような2種類のポスターが完成しました。さらに、クリアファイルを作成して、中学生に配布しようということになり、さっそく業者にポスターと同じ図案で発注をし、8月の下旬には手元に届き、旧一区の中学校及び中野・山ノ内の中学校に届けました。

2 中学校訪問の実施

9月中旬からは、北信地区、および上越方面の中学校に訪問し、教頭や進路担当、3学年担当教員に飯山高校の良い点をアピールして回りました。研究会のメンバーのうち10名で分担して、ポスターや学校案内、独自の資料を持参し、学習面や進路状況、課題研究やクラブ活動について説明を行いました。中野以北の地元中学校には、1回目は7月に校長先生が、2回目は11月に研究会のメンバーで中学校訪問を行い、多くの生徒が飯山高校に志願していただくようお願いをしました。

9月に行った中学校訪問で、「生徒に配布する資料があるとありがたい」という中学校側からの要望を受け、11月には次のようなプリントを用意し、SSHや進路関係の資料とともに3学年の生徒全員に配布してもらいました。



「おいでよ！ 飯山高校へ」～飯山高校のセールスポイント～

飯山高校同窓会「桂雪会」

1. 特徴ある3学科・・・スポーツ以外で大学進学を目指すなら「探究科」

- (1) 飯山高校には特徴のある3学科があり、すべての学科で教科の学習と課題研究に取り組み、それぞれに進路実現を果たしています。
- (2) (普通科と探究科の大きな違い⇒進路先と5教科の学習水準)
 - ・ 探究科は2年次から理系(自然科学)と文系(人文科学)に教育課程が分かれ、国公立大学や難関大学への進学をねらう特別進学クラスとしての位置づけです。
 - ・ 普通科は教科の基本事項を学習して進路実現を果たすことをねらっています。

2. 進路実績

- (1) 大学進学は裏面の「資料①」を参照してください。令和2年に東京大学、令和4年に京都大学に進学しています。(中規模校としては健闘している) 進路先は専門学校や就職もあります。
- (2) 課題研究に取り組んだ結果、それを大学進学に結び付けた例も多数あります。

「資料②」参照

- (3) スポーツ科学科では、スポーツ推薦を利用して私立大学へ進学する生徒が多いです。
- (4) 指定校推薦(私立大学)も数多く(100校以上)あります。
- (5) 【学力向上と大学進学実績の向上に力を入れた取り組み】
 - ① 教員が予備校で研修を行い大学受験の指導について指導力を強化しています。
 - ② 他県の進学実績校の視察を行っています。
 - ③ 特に、英語・数学については、進学実績の向上を目指して習熟度や少人数講座を展開しており、さらに充実するよう工夫をしています。
 - ④ 放課後や土・日曜日には桂雪アカデミーで学習室を設けて、生徒が活用しています。特別進学講座を設けて特別講座の授業を行うことも検討しています。
 - ⑤ 少人数の学級や講座で、生徒と学級担任・教科担任が近い関係で、教員は温かい指導を心がけています。

3. SSH(スーパーサイエンスハイスクール)と課題研究

- (1) SSHについては、全学科で取り組み、様々な探究活動や課題研究に取り組んでいます。文科省から、年間700万円程度の経済的支援を得て他校にはない学びを進めています。
- (2) 課題研究も全学科で取り組んでいます。スポーツ科学科では1～3年で専攻種目に関する課題研究に取り組み、普通科、探究科では主に1年後半～2年で課題研究に取り組みます。探究科の課題研究は、コンテスト等で多くの賞を獲得しています。 「資料③」
- (3) 探究科は、課題研究ばかりやっているわけではなく、教科の学習が基本です。課題研究の指導のノウハウが蓄積された結果、数々の優秀作品が生まれているのです。研究が苦手であっても、コミュニケーション力や表現力が飛躍的に向上し、多方面で生かされていきます。

4. 充実の学校生活

- (1) 在校生は、純朴で素直な生徒が多く、学校生活の中で二兎、三兎を追う生徒が多い。クラブ引退後は受験生への切り替えがスムーズにできる雰囲気があります。
- (2) 最近、学校行事や生徒会行事が縮小される学校が多い中で、飯山高校は従前どおり行事を大切にしています。クラスマッチは年2回(秋は2日間)、強歩大会、スキー教室、「飯高祭」、サイエンスツアーやフィールドワーク、修学旅行など充実しています。
- (3) 部活動については、世界や全国優勝を目指すスキー部を筆頭に、陸上部、野球部等のスポーツ系の部活が盛んであり、全国指折りの指導者がいます。競技を楽しむ部活も多くあり、生徒が自主的な運営を行っています。文科系クラブの吹奏楽や書道部・美術部・軽音楽部・

自然科学部も楽しみながら真剣に取り組んでいます。自然科学部は、毎年全国総文祭に出場し、昨年度は MBR の研究で世界1位を獲得しました。

- (4)「飯高祭」は最大の生徒会行事で、合唱祭・運動会・クラス展をはじめ音楽祭や様々なイベントを企画し、青春の1ページを創り上げています。

5. 卒業生の声、その他

- (1) 卒業生のアンケートから、ほとんどの生徒が、飯山高校の高校生活はよかったと評価しています。教師と生徒の関係や生徒同士の良好な関係、施設設備の充実やきれいなトイレなどについての評価が高いです。少人数の学級や講座も好評です。SSH に係る探究活動や課題研究への取組みについても、ためになったと回答しています。熱中した部活動についても良かったと答えています。「資料④」
- (2) 長野市内などの都市部や大規模校にはない良さがあります。
- ・須坂高校の受験に失敗して、飯山に入学した生徒や保護者から「飯山でよく面倒を見てもらい本当に良かった。」という声がありました。
 - ・2 次募集で飯山高校のスポ科に入学し、スキーで全国優勝を成し遂げ、有名私立大へ進学した例があります。
 - ・東京からスキーをしたくてスポ科に入り、県の強化選手にまで成長した生徒は、卒業後大学を目指し、有名国立大学に合格しました。「飯山の自然豊かな地で、学んだことは自分にとってかけがえのない経験でその後の人生に生きている。」と語ってくれました。
 - ・かつての飯山北高校には、長野方面からも多くの生徒が入学(2 次募集も含む)してきました。その多くは、飯山の自然と飯山線から望む景色に癒され、穏やかな気質の生徒たちと交友を深め充実した青春時代を送りました。大学受験のときには、より一層頑張って進路実現を果たし、大学卒業後も活躍しています。
 - ・都市部の大規模校では、授業の進みが早かったり、多くの教材をこなすよう指導されたりして学習についていけない生徒や自信を無くしてしまう生徒もいます。生徒数が多い大規模校と比べ、教師と生徒の関係がぐっと近い飯山高校で、ていねいな指導の下じっくり学習を進めることで後伸びする生徒が多いことを知ってほしいと思います。
- (3)【通学の便を図る取り組み】
- ・山ノ内町・中野方面からの冬期間のスクールバス運行も継続します。今後、通年の運行は可能かも検討していきます。
 - ・飯山線の北飯山駅から、歩いて 3 分で校舎内に入れる便利の良さです。教室からは、発車 5 分前でも駆け足で列車に乗り込むことができます。
- (4)【11月29日(土)に、飯山高校で入試説明会】
- ぜひ参加してください。個別相談もあります。

3 令和 8 年度初めの様子

- (1) 新入生 普通科 67 名、探究科 48 名、スポーツ科学科 31 名 (1 区から 38%)
- (2) SSH は、R8 年は経過措置、予算は 200 万円。R9 年度の採択を目指す
- (3) 寮生は 32 名から 18 名に減少
- (4) 運動部の入部者減少、文化部への入部増加
- (5) 全県で公立全日制高校定員割れ、私学への進学や定時・単位制の生徒増加

人口減少が進み、地域全体も活力が失われつつある今、教職員生徒はもとより、保護者や同窓生、地域住民で飯山高校を盛り立てていくことが求められています。